

商店街電子商品券事業検討会通信

vol. 3

現在、中野区商店街振興組合連合会（区振連）では、「中野区内共通商品券（なかのハート商品券）」の電子化に向けて検討を行っています。

VOL.1 で、なかのハート商品券の電子化に関する基礎情報をご紹介しましたが、Vol.3 の今回は、さらに深掘り、商品券を電子化する際の2つの方法について、それぞれのメリット・デメリットについてご紹介していきます。

デジタル地域通貨～P a y方式とデジタル商品券の違い～

◎P a y方式の特徴

先進事例：「せたがやP a y」（世田谷区商店街振興組合連合会）

決済方法：QRコード決済

メリット：行政が発行するポイントなどとも連携でき、発展性がある。

デメリット：管理・運用費用が高く、継続的な補助が必要。

◎デジタル商品券の特徴

先進事例：「足立区プレミアムデジタル商品券」（足立区商店街振興組合連合会）

決済方法：QRコード決済

メリット：導入及び運用がP A Y方式に比べ安価。

デメリット：通年でデジタル商品券を発行している前例がなく、手本がない。

今後の方向性

P A Y方式の地域通貨を導入するには、労力や資金面からみても、区商連だけで運用するのは厳しい状況であり、銀行や行政との連携が必須である。そのため、行政の意向の聞き取りや銀行との話し合い等も行う必要があることが分かった。デジタル商品券方式については、比較的安価で運用のしやすい点が長所ではあるが、通年でデジタル商品券を販売している事例がないため、新たな試みとなるといったデメリットもある。こうしたことを踏まえ、今後も各種団体と話し合いを進めながら、商品券の電子化について検討を進めていく。

次回は

次回は、キャッシュレス化が進んでいる中野ブロードウェイ商店街振興組合と中野サンモール商店街振興組合にお伺いし、中野区内共通商品券（なかのハート商品券）の電子化について、意見交換を行います。

会 場 : 中野サンモール商店街振興組合 事務室
(中野区中野5-6 7-1)

日 程 : 令和4年8月8日(月)

時 間 : 午後3時～

今回は、検討会のメンバーでなくとも参加可能です。ご希望の方は、事前に下記事務局にご連絡ください。

商店街電子商品券事業検討会事務局

中野区商店街振興組合・中野区商店街連合会事務局

電話 : 03-6454-1995

E-mail : info@nakano-kushoren.gr.jp